

2025年3月卒業生 離職調査および教育の成果・効果について（報告）

2025年12月1日

1. 実施内容

職業安定法第32条の16に基づき「就職から6ヶ月以内に解雇以外の理由で離職した者の数」を調査する義務があること、また、教育活動等の成果や効果を検証し、今後の見直しや改善に活用することを目的として、今春卒業者の就職先に對し調査を実施しましたので報告いたします。

2. 実施期間

2025年10月17日発送～回答期日 2025年11月17日

3. 調査対象

本学卒業生の就職先 全192事業者

4. 調査方法

本学卒業生の就職先に郵送配布、郵送回収

5. 回収状況

回収数：155事業者、300名分

6. 調査結果について

就職から6ヶ月以内に解雇以外の理由で離職した者 1名

(1) 病院 診療放射線技師 (6月23日退職)

7. 事業者からのご意見

71事業者より貴重なご意見を賜ることができました。それらを整理すると以下のとおりとなります。

[肯定的な評価]

・勤務態度と熱意:

多くの卒業生が「はじめて勤怠も良好」「責任感をもって取り組んでいる」「日々の業務に前向きに取り組む姿勢や患者さまへの対応が誠実」と高く評価されています。研修にも熱心に参加し、日々の努力を重ねており、すでに戦力として活躍しているとのご意見もありました。

・知識・能力・成長力:

「基礎知識がしっかりとしており、実務も器用にこなしている」「自ら考えて行動できる主体性を備え、学ぶ姿勢も見られる」など、人間性の面でも高く評価されています。中には「経験はまだ浅いものの、今後の成長が非常に期待できる」「欠勤者が出了際には戦力として現場を支える存在」とのご評価をいただいた卒業生もおりました。

・コミュニケーション能力:

「主体的に学ぶ姿勢と高いコミュニケーション能力から、チーム医療の一員としての適応力が高い」「患者様に対して真摯に向き合い、積極的に検査案内を行う姿勢が印象的である」「医療職に求められる対人スキルは、医療現場のみならず一般企業においても活かせる」とご評価いただいた病院・企業等もありました。

・本学教育・各種ポリシーへの肯定的評価・謝辞:

「本人と面談を行ったところ、学校での教育に対しては感謝の意を述べている」「長期的に組織へ貢献してくれる人材としての成長が期待される」「新人教育において段階的な成長を支援する中で、貴校での教育がその土台として非常に有効に機能していると感じている」「人としての成長も含め学校での教育がしっかりとつながっている印象」というご意見がありました。また、各種ポリシーから「札幌地域のみならず国内外の視野を持ちつつ、活動できる人材育成を重視している点に深く感銘を受けた」とご評価いただいた病院・施設等もありました。

[課題と要望]

・基礎知識・実務能力・臨床経験:

「基礎知識や基本的なマナー、専門職としての自覚不足」「臨床経験が少ないことにより業務遂行にやや苦労する場面がある」という指摘があり、入職後に一定期間の卒後教育や指導を望むご要望をいただきました。

・姿勢・自発性・主体性:

「業務において待ちの姿勢が目立つ」「積極性を促すと確認せずに行動する傾向がある」など、責任感の面で課題が見られるとの指摘がありました。また「自ら調べることより先に質問する傾向がある」とのご意見から、主体的に学ぶ意欲の強化が望まれると考えられます。加えて、与えられた業務のみを行い、自ら他の業務を手伝う機会が少ないことも課題として挙げられています。

・コミュニケーション能力・報連相:

「報連相については消極的な面が見られる」「良くも悪くも自己判断で行動ができるが、助かる場面はあるものの、聞いてくれれば解決したのにといった事例も発生している」とのご意見がありました。

- 入職後の学習意欲・人間性:

「学習意欲が乏しく、現状の職場環境においても向上心があまり見られない」との指摘がありました。また「人間性の面で、基本的な行動を身につけさせる指導が望まれる」との意見もありました。社会人としての態度や配慮の指導が必要と考えられます。

- メンタルヘルス上の課題

「責任の重大さを認識する中で、自分には無理だと感じてしまうことがある」との指摘があります。また「未経験の業務に対して、メンタルの弱さが表れる場面が時折見られる」とのご意見がありました。

以上の貴重なご意見については、学内の教育活動の見直しに活用させていただきます。